

様式 C-19

平成16年度～18年度 科学研究費補助金研究成果報告書概要

- 機関番号 6 4 3 0 2
- 研究機関名 国際日本文化研究センター
- 研究種目名 基盤研究(B)
- 研究期間 平成16年度 ～ 平成18年度
- 課題番号 1 6 3 2 0 0 2 3
- 研究課題名 工芸における伝統と革新：京都を中心とした職人産業の歴史の変遷と現状分析

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
4 0 2 0 3 1 9 5	フリガナ イナガ シゲミ 稲賀 繁美	国際日本文化研究センター 研究部	教授

8. 研究分担者(所属研究機関名は、研究代表者の所属研究機関と異なる場合に記入すること)

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
7 0 3 1 0 7 7 9	フリガナ ハトリシア フイスター ハトリシア・フイスター	国際日本文化研究センター 海外研究交流室	助教授
5 0 1 9 8 9 2 5	フリガナ ハラダ ハイサク 原田 平作	愛媛県美術館	名誉館長
4 0 1 3 2 7 0 8	フリガナ ヒダ トヨロウ 樋田 豊郎	京都工芸繊維大学・美術工芸資料館	助教授
4 0 2 7 0 4 9 1	フリガナ マツバラ リュウイチ 松原 龍一	京都国立近代美術館・学芸課	主任研究官
8 0 3 3 4 5 6 4	フリガナ スズキ サダヒロ 鈴木 禎宏	お茶の水女子大学・生活科学部	助教授

9. 研究成果の概要(当該研究期間のまとめ、600字～800字、図、グラフ等は記載しないこと)

京都は「伝統的工芸品」および「指定外伝統的工芸品」の品目数において突出しているが、従業者数、生産高はともに昭和50年代の頂点として低落傾向にある。産業構造が工業生産から情報流通へと移行し、製造業一般が海外へと転移し、先端技術が伝統産業から離脱する傾向を深めている。今日、伝統を再発掘し、現状を把握し、将来への展望を開くことが急務である。こうした問題意識にたつて本研究では、陶芸、漆器、染織などの職種さらには、仏具、茶道具など複合した業界ごとに、作り手、社会環境、技術・原料、販売・市場、行政、消費と批評活動といった項目に目配りして調査チームを作り、実地調査を行い、京都・伝統・工芸とそこから排除される項目（地域差、国内外の対比、伝統産業構造への評価、工芸からの離脱）との比較を通じて、現時点での京都職人産業の問題点を洗い出した。

産業別の各地の調査は、(1) 喪失に瀕した伝統技術の探索、(2) 明治輸出工芸における特定業種の興亡とその社会的背景、(3) 戦前期における日本の対外的発展と職人産業の教育的・社会的影響との関係、(4) さらに現代における海外の工場制生産拠点と日本の家内工業的な工房との比較に及び、多くの新知見を得た。(5) この実地調査に基づき、また平行しつつ、戦後の伝統的産業の振興に関する行政施策の歴史の変遷(とりわけ1974年の「伝統的工芸品産業振興法」と、2005年制定の京都市「伝統産業振興条例」)に見られる現状が批判的に分析された。

研究成果は、『伝統工芸再考 京のうちそと 過去発掘・現状分析・将来展望』、国際シンポジウム報告書 *Traditional Japanese Arts and Crafts in the 21st Century, Reconsidering the Future from an International Perspective*, および、職人と芸術家と、伝統と革新との関係に関しては、シンポジウム記録『前衛陶芸 八木一夫のオブジェ焼き』などとして公刊する。

10. キーワード

- | | | |
|----------|--------|----------|
| (1) 伝統工芸 | (2) 京都 | (3) 文化行政 |
| (4) 芸術諸学 | (5) | (6) |
| (7) | (8) | (裏面に続く) |

11. 研究発表（印刷中も含む。）

〔雑誌論文〕 計（ 7 ）件

著者名	論文標題			
Shigemi INAGA	"Sister Nivedita and her Kali the Mother"			
雑誌名	巻・号	発行年		ページ
IRCJS ed., <i>Japan Review</i>	No. 16	2	004	129-159

著者名	論文標題			
稲賀 繁美	「日本美術像の変遷(1880-1940)」			
雑誌名	巻・号	発行年		ページ
韓国美術研究所編『美術史論壇』	第18号	2	004	171-197

著者名	論文標題			
稲賀 繁美	「岡倉天心とインド:越境する近代国民意識と汎アジア・イデオロギーの帰趨」			
雑誌名	巻・号	発行年		ページ
モダニズム研究会編 『越境する想像力: モダニズムの越境』		2	004	76-102

著者名	論文標題			
稲賀 繁美 (責任編集)	「描写と記述:近代視覚世界の形態学と市場の遷移:方法論的反省」			
雑誌名	巻・号	発行年		ページ
韓国美術研究所編 『美術史論壇』	第20号	2	005	179-647

著者名	論文標題			
稲賀繁美	「西洋舶来の書籍情報と徳川日本の視覚文化の変貌」			
雑誌名	巻・号	発行年		ページ
『日本研究』 国際日本文化研究センター	第31号	2	005	13-46

著者名	論文標題			
土田 真紀	「『工芸』の課題—柳宗悦の視点から—」			
雑誌名	巻・号	発行年		ページ
熊倉功夫・吉田憲司編 『柳宗悦と民芸運動』(思文閣出版)		2	005	220-249

著者名	論文標題			
原田 平作	「(豊中の)近現代美術」			
雑誌名	巻・号	発行年		ページ
豊中市史編纂委員会編『新修豊中市史』	第6巻 (美術)	2	005	354-484, 524-580

〔図 書〕 計 (7) 件

著 者 名	出 版 社		
金 恵信	ブリュッケ社		
書 名		発 行 年	総ページ数
『韓国近代美術研究－植民地期「朝鮮美術展覧会」にみる異文化支配と文化表象』		2 0 0 5	295

著 者 名	出 版 社		
デザイン史フォーラム編 藤田 治彦(責任編集)	思文閣出版		
書 名		発 行 年	総ページ数
『アーツ・アンド・クラフツと日本』		2 0 0 5	304

著 者 名	出 版 社		
鈴木 禎宏	ミネルヴァ書房		
書 名		発 行 年	総ページ数
『バーナード・リーチの生涯と芸術:「東と西の結婚」のヴィジョン』		2 0 0 6	405

著 者 名	出 版 社		
西 槇 偉	思文閣出版		
書 名		発 行 年	総ページ数
『中国文人画家の近代:豊子愷の西洋美術受容と日本』		2 0 0 5	381

著 者 名	出 版 社		
樋田 豊次郎	美学出版		
書 名		発 行 年	総ページ数
『工芸家「伝統」の生産者』		2 0 0 4	236

著 者 名	出 版 社		
樋田 豊次郎	美学出版		
書 名		発 行 年	総ページ数
『新装版 工芸の領分』		2 0 0 6	401+39

著 者 名	出 版 社		
芳井 敬郎	思文閣出版		
書 名		発 行 年	総ページ数
『民俗文化複合体論』		2 0 0 5	444